

**EPSON OPOS ADK for .NET マニュアル**

# サンプルプログラム 操作ガイド

Version 1.14.6 Dec. 2017

### ご注意

- (1) 本書の内容の一部、または全部を無断で転載することは、固くお断りいたします。
- (2) 本書の内容につきましては、将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書の内容につきましては万全を期して作成いたしましたが、万一誤り・お気付きの点がございましたら、ご連絡くださいますようお願いいたします。
- (4) このソフトウェアは、指定された装置以外には使用できません。
- (5) 運用した結果の影響につきましては、(3)項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。

### 商標

Microsoft®、Windows®、Windows Vista®、Visual Basic®、Visual C#® は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

IBM® および PC/AT® は、米国 International Business Machines Corporation の登録商標です。

EPSON® は、セイコーエプソン株式会社の登録商標です。

ESC/POS® は、セイコーエプソン株式会社の登録商標です。

引用している会社名、商品名は、各社の商標または登録商標です。

Copyright (c) 2005-2017 Seiko Epson Corporation

# 目 次

---

第1章 はじめに .....	1
第2章 注意事項 .....	2
第3章 サンプルの使用方法 .....	3
3.1 使用方法 .....	3
3.2 First Step .....	7
3.3 POSPrinter .....	8
3.4 LineDisplay .....	9
3.5 CashDrawer .....	10
3.6 Electronic Journal .....	11

# 第1章 はじめに

---

EPSON OPOS ADK for .NETにおいて、サンプルプログラムを使用する場合の使用方法や関連事項、および注意事項を説明します。

サンプルプログラムとは、アプリケーション開発者の為に実際のアプリケーション開発の参考となるプログラムを提供するものです。

デバイスごとの主要なメソッド／プロパティの使用方法を Visual Basic .NET、Visual C#.NET のプログラムとして提供しています。

サンプルプログラムをお使いになる場合は、EPSON OPOS ADK for .NETをインストールしていただいた後、SetupPOS ユーティリティを用いて、使用するデバイスの設定を行ってください。

設定方法、設定詳細、機能詳細等につきましては、該当するデバイスのマニュアルを参照してください。

本マニュアルに該当するデバイスは、次のとおりです。

POSPrinter、LineDisplay、CashDrawer、Electronic Journal

## 第2章 注意事項

---

以下に、サンプルプログラムを使用する際の注意事項を記載します。

- サンプルプログラムを動作させる前に、以下の事項について確認してください。
  1. サンプルプログラムは、下記の環境で動作します。該当するバージョンがインストールされていることを確認してください。

Visual Basic .NET 2010  
Visual C# .NET 2010  
.NET Framework バージョン 4.0
  2. EPSON OPOS ADK for .NETがインストールされていることを確認してください。
  3. CheckHealth テストを実行して、各デバイスが正しく接続、設定されていることを確認してください。
- スキャナのヘッダの設定によっては、データ種別が正しく判別されない場合があります。その場合は、再度、各デバイスの説明書を参照して、ヘッダの設定を行ってください。
- LineDisplay (DM-D500) 専用機能のビットマップあるいは、Printer 機能のビットマップを表示（印字）したい場合は、実行ファイルと同じフォルダに Logo.bmp ファイルが必要です。Logo.bmp は、ソースと同じフォルダに格納されています。

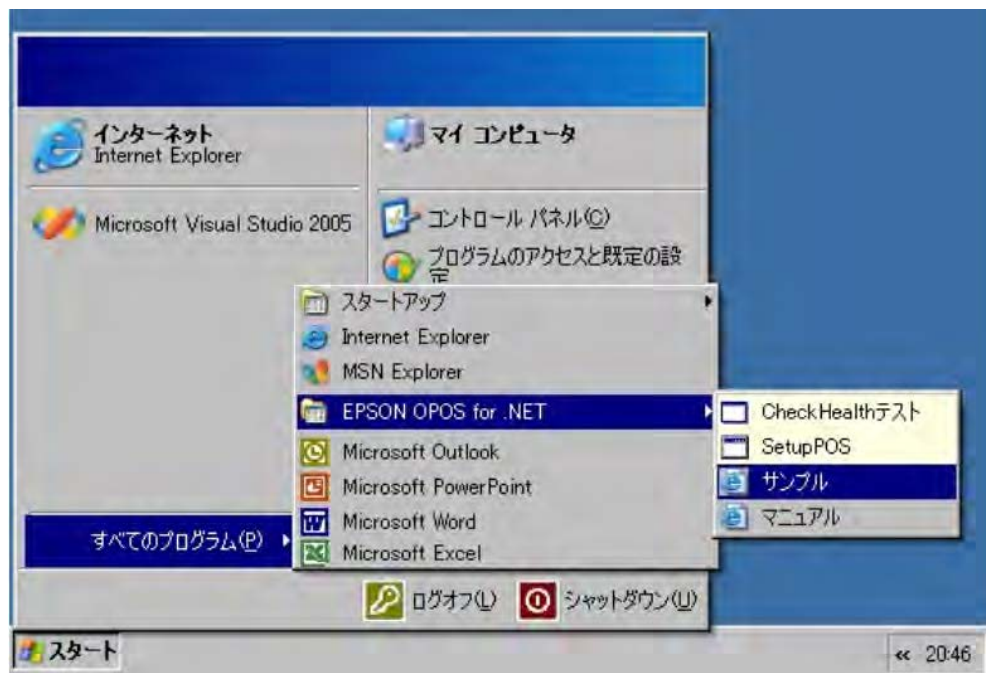
## 第3章 サンプルの使用方法

---

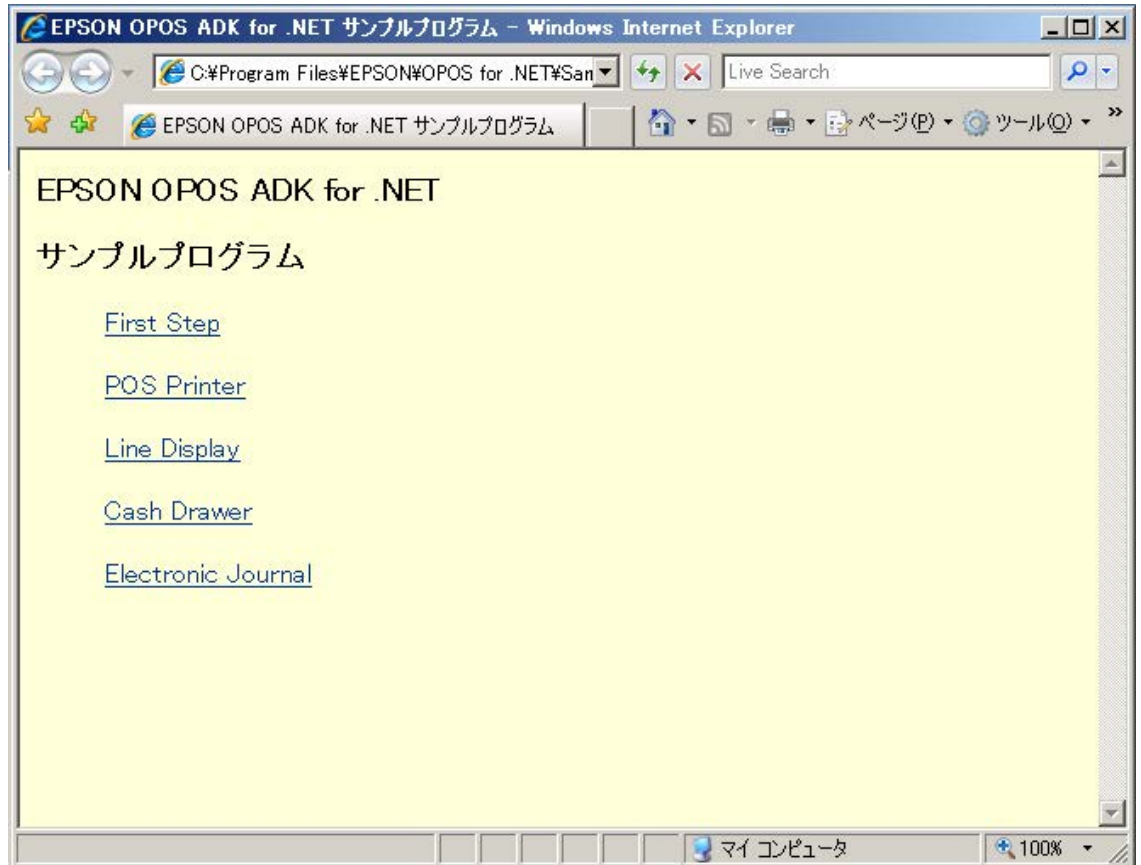
ここでは、サンプルの使用方法、および各デバイスの動作について説明します。  
セットアップ方法につきましては、「EPSON OPOS ADK for .NET マニュアル ユーザーズマニュアル Installer/SetupPOS/TMUSB」を参照してください。

### 3.1 使用方法

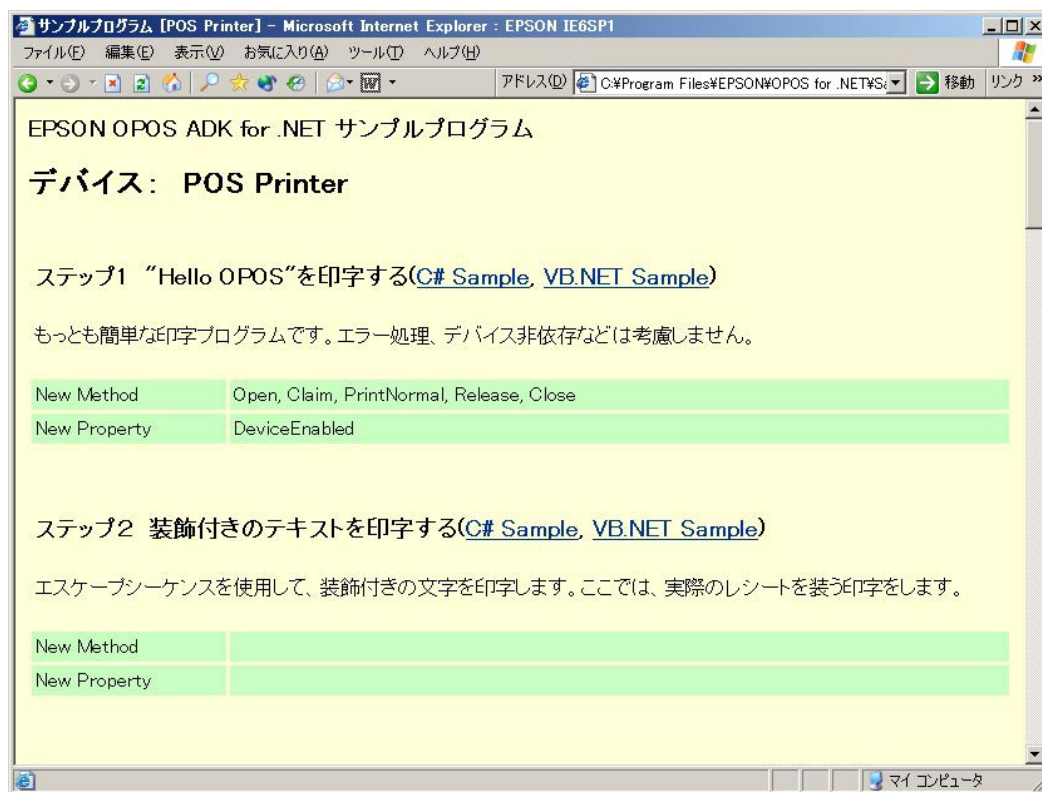
1. 以下のプログラムグループからサンプルを実行します。



2. サンプルを実行すると、次のデバイス選択画面が表示されます。  
表示されているデバイスから該当するものを選択してください。



3. 該当デバイスを選択すると、次のステップ画面が表示されます。  
 （[デバイス：\*\*\*]として、“\*\*\*”に選択したデバイス名が表示されます。下の画面は、POS Printerを選択した際の画面です。）



ステップ数はデバイスごとに異なりますが、ステップ数が増えるにつれて機能が増えます。各ステップの主な機能説明、および新たに加わったメソッドとプロパティが表示されています。



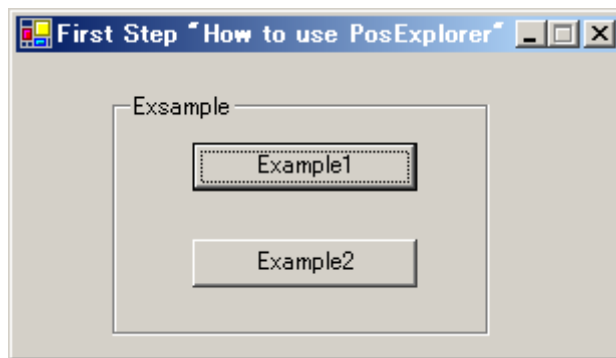
4. ステップを選択すると、次のダウンロード画面が表示されます。  
[開く] ボタンをクリックしてください。選択したサンプルプログラムが読み込まれます。



5. 読み込まれたサンプルプログラムから、実装方法、および動作が確認できます。

### 3.2 First Step

EPSON OPOS ADK for .NET を使用する手順を説明します。



以下に、各ボタンで処理される事項に関して説明します。

**[Example1]**

デバイスカテゴリと論理デバイス名を基にコントロールを生成します。

**[Example2]**

使用するデバイスカテゴリに属するコントロールの一覧を取得します。

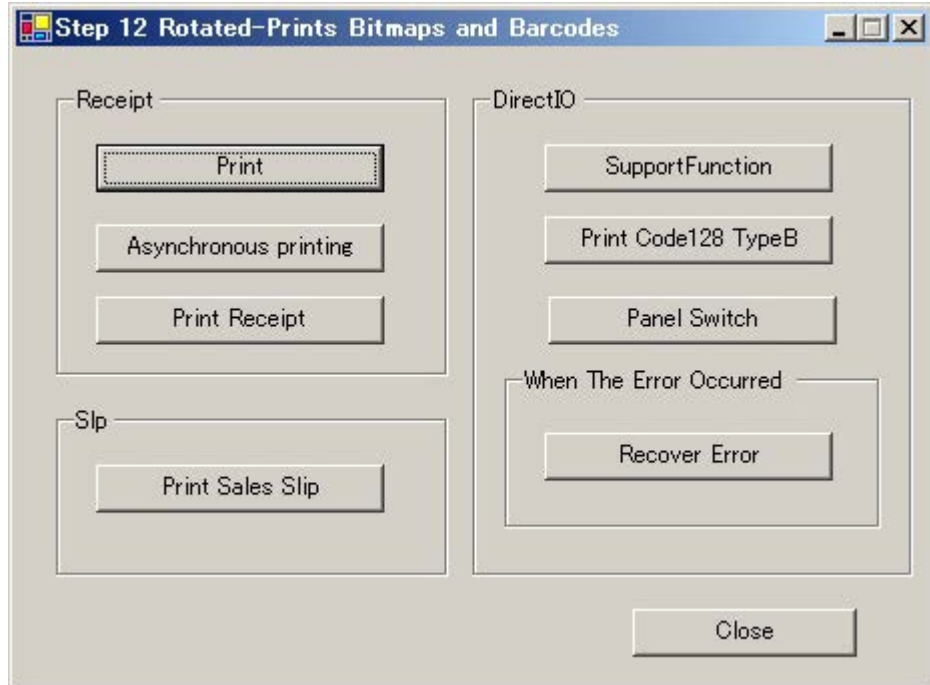
取得した一覧と論理デバイス名を基にコントロールを生成します。

### 3.3 POSPrinter

POSPrinter のサンプルプログラムについて説明します。

POSPrinter には、1～16 までのステップがあります。

ここでは、ステップ 12 を例にとって説明します。



以下に、各ボタンで処理される事項に関して説明します。

**[Print]**

レシートにサンプル例を印字します。

**[Asynchronous printing]**

印字処理を非同期にすることにより、印字が終わらなくても処理が返ってきます。マウ斯卡ーソルの砂時計の表示時間に注目してください。

**[Print Receipt]**

領収書にサンプル例を印字します。

**[Print Sales Slip]**

レシートの回転印字機能を使用して、売上伝票を印字します。

**[SupportFunction]**

プリンタが搭載している機能を調べます。

**[Print Code128 TypeB]**

Code128 TypeB のバーコードを印刷します。

**[Panel Switch]**

パネルスイッチを無効にします。

**[Recover Error]**

復帰可能なエラーから復帰します。

**[Close]**

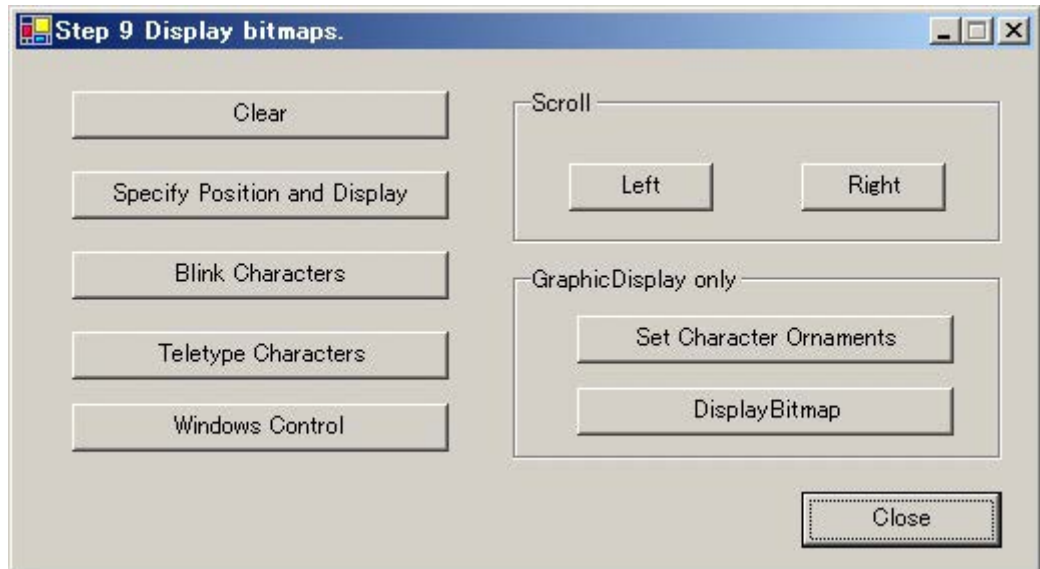
プログラムを終了します。

### 3.4 LineDisplay

LineDisplay のサンプルプログラムについて説明します。

LineDisplay には、1～11 までのステップがあります。

ここでは、ステップ 9 を例にとって説明します。



以下に、各ボタンで処理される事項に関して説明します。

**[Clear]**

表示内容をクリアします。

**[Specify Position and Display]**

文字の位置を指定しつつ表示させます。

**[Blink Characters]**

文字を点滅表示させます。

**[Teletype Characters]**

徐々に文字を表示させます。

**[Windows Control]**

ウィンドウを作成し、そのウィンドウ内の文字をマーキー表示させます。

**[Left]**

表示している文字を、右から左へスクロールさせます。

**[Right]**

表示している文字を、左から右へスクロールさせます。

**[Set Character Ornaments]**

エスケープシーケンスを使用して文字を装飾します。

**[DisplayBitmap]**

イメージを表示します。

**[Close]**

プログラムを終了します。

### 3.5 CashDrawer

CashDrawer のサンプルプログラムについて説明します。

CashDrawer には、1～4 までのステップがあります。

ここでは、ステップ 3 を例にとって説明します。



以下に、各ボタン／画面について説明します。

**[Open]**

クリックすると、ドロワーをオープンします。

**[Status]**

現在のドロワーの状態（Open/Close）を表示します。

**[Power]**

現在のドロワーの電源状態を表示します。

**[Close]**

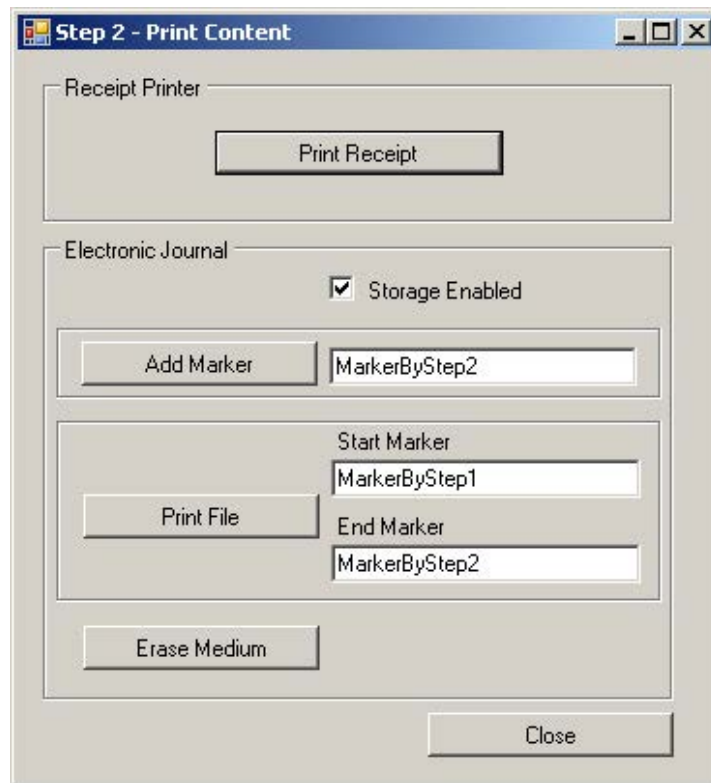
プログラムを終了します。

### 3.6 Electronic Journal

Electronic Journal のサンプルプログラムについて説明します。

Electronic Journal には、1～5 までのステップがあります。

ここでは、ステップ 2 を例にとって説明します。



以下に、各ボタン／画面について説明します。

**[Print Receipt]**

領収書にサンプル例を印字します。

**[Storage Enabled]**

チェックすると、Electronic Journal が有効になります。

**[Add Marker]**

クリックすると、現在のポジションにマーカーを付けます。

**[Print File]**

クリックすると、「Start Marker」と「End Marker」の間のデータが印刷されます。

[Erase Medium]

クリックすると、**Electronic Journal** データの消去確認ダイアログが表示されます。

※**Erase Medium** を実行した場合、論理デバイス名に関連づけられた **Electronic Journal** の全てのデータが消去されてしまいます。  
そのため、データ消去確認のダイアログが表示されます。

[OK]ボタンをクリックすると、**Electronic Journal** に記録されているデータが全て消去され、ダイアログが終了します。

[Cancel]ボタンをクリックすると、データの消去は行わずに、ダイアログを終了します。

[Close]

プログラムを終了します。